

キャリアコンサルティング技能検定2級 学課・論述・面接試験 合格体験記

2024年3月31日

2級受検番号 NO 05S1120001 氏名 Y.M (奈良県 在住)

■2級技能士を目指したきっかけ

公務員として長年人事担当部署で勤務してきましたが、少子化による若手人材の不足、コロナ禍における在宅勤務を含めた新しい働き方、業務改善、ハラスメント、メンタルヘルスや定年延長と多様な問題への対応について自分自身のこれまでの経験が十分に整理されず、上手く活かされていないのではないか、と疑問に感じ、管理職となって数年経過していましたが、重い腰を上げて、昨年3月にキャリアコンサルタント養成講座を申し込みました。

4月からの3ヶ月で基礎的な内容をなんとか理解し、7月の国家資格試験を受検、運良く8月に合格できたものの自分自身の中にはまだ消化不良な気持ちが残っていました。

そのため、2級技能士についてCC協議会のHPで試験内容等を確認し、熟練者としての技能をマスターしてみたいという思いから12月の受検を目指すこととしました。

■当初の勉強法

4月から6月までの毎日曜日は養成講座に費やしておりましたが、9月以降は仕事等の関係もあってまとまった学習時間の確保は難しく、一日の隙間時間を上手く使うしかない状況でした。

学科と論述は12月10日が試験で、面接試験は1月に実施されることから、受検申し込みから12月10日まで学科：論述は、7：3の比率で学習時間の割り当てを行いました。各試験対策の部分でも後述しますが、独学とはいえ市販の過去問集やYoutube等の動画情報だけではなく、専門家のライブ講座を経験しておく必要があると感じましたので、私は最初に10月29日(日)に香川県で開催されました、「1級キャリアコンサルティング技能士の会 2級対策1日集中実技合格講座 本試験ケース分析とロールプレイ」を受講しました。

この講座で配布された論述及び面接試験の対策資料は、必要事項、重要事項が余すことなく、しかも簡潔に整理されておりました。また、講師の先生方のご説明も具体的かつポイントを非常にわかりやすく押さえてくださっておりましたので、2級初受検の私にも非常にクリアに理解することができました。午後のロールプレイでも国家資格キャリアコンサルタント試験の面接とは異なる20分の面接の濃密さ、10分の口頭試問の深みを初めて体験することができたことが、この後の独学の勉強方法・計画を自分なりに修正できる良い機会となりました。

さらに、12月16日(土)に東京で開催されました「同会 本試験ケース分析とロールプレイ1日集中合格講座」を受講しました。あらかじめ自分なりに分析した5事例をノートに記載し講座に臨みましたが、講師の先生方の見立てや分析の鋭さ、深さ、多様性を御教示いただけましたので、年末年始の自分なりの振り返りに大変効果がありました。仕事の関係で翌日17日(日)に実施された「講師の先生が相談役を演じるロールプレイゼミ」は受講できませんでしたが、このような実践経験を積んでおくことが非常に重要であると感じました。

■合格のきっかけ

私は養成講座の学習の中で学んだ、クランボルツ先生の「計画的偶発性理論」の内容が特に気に入ったのですが、好奇心・持続性・柔軟性・楽観性・冒険心は自分の2級合格によく当てはまっていたと感じました。

10月の香川県で開催された講座に奈良県から参加した好奇心・冒険心、そこで配布された資料を何度も繰り返した持続性、講師の先生方の御指導等を自分のこだわりに固執せずに受け入れる柔軟な姿勢、そして受験に対してこれに絶対合格しなければいけないと考えるのではなく、これまで自分がどう成長したかを見てください、という発表会で演じるような楽観的な気持ちで臨めたからではないか、と振り返ってみると印象深く思い返されます。

さらには多くの資料、情報に目を奪われず、信じた資料、講座内容を繰り返し反復することが大切ではないか、と感じます。私は時間もあまりありませんでしたので、あれこれ手を出すのではなく、基本の軸、ぶれない軸を構築することに努めました。

■学科試験対策

最近の学科試験は国キャリアも2級も本質は変わらないものの少し傾向が変化しているように感じました。最新の労働関係のトピックスにはアンテナを張っておくのがよいかもしれません。特に、厚労省、文科省、経済産業省のHPに掲載されている労働問題、キャリア教育、経済状況に関する審議会の公表資料等に目を通して最近の流れが分かるのではないかと感じます。

また、「みんなで合格」のサイトに縦横くんという直近3回の国キャリアと2級の過去問の出題分野をまとめた表があります。それを活用しつつ、私は時間があまりなかったため、過去問は国キャリア(20回~24回)と2級(27回~30回)を解きました。実際は時間を計って解くというよりは最初から問題文を読みながら解答・解説を読み進めていく方法をとりました。

なお、本番の学科試験では、最初の第1問から解き進めるよりは、最後の第50問から解き進めるようにしました。自分なりの感覚ですが、後半はあまり難問や新ジャンルの問題がなく、易問、基本的内容の問題が多く、時間をかけずにある程度までは順調に進めたように感じました。あくまで個人的な感想ですので、皆様自身の解きやすい方法で進めてください。

参考書は、辞書的に「6訂版キャリアコンサルティング理論と実際(木村周、下村英雄著)」を必要な用語や内容の確認程度に使用しました。「新版キャリアの心理学第2版(渡辺三枝子編著)」は試験頻出の代表的な理論家の興味深い内容の話が詳しく記述されていたので、一読し重要な部分に付箋を貼り、試験直前に読み返す際の参考にしました。

問題集は、「2023年版国家資格キャリアコンサルタント学科試験要点テキスト&一問一答問題集(秀和システム)」のうち、★3つの問題を10回くらい読み、★2つの問題を3回くらい読みました。解くのではなく左の問題を読んで、右の解説を読むという作業を繰り返しました。ちなみに時間がありませんでしたので割り切って★1つの問題は一切読みませんでした。また、10月に同会から刊行された「キャリアの赤本ドリル」を購入し、こちらは学科試験までに5回ほど解説を熟読し理解不足の部分に付箋を貼って試験直前に見直して活用しました。

第31回の学科試験は、80点という結果でなんとか合格した実感です。時間に余裕のある方は過去問や問題集の反復に十分時間を宛てて高得点を狙ってみてください。

■論述試験対策

論述試験対策については、1級キャリアコンサルティング技能士の会から刊行されています「2級実技試験(論述・面接)合格バイブルII」を購入し、合格対策の内容を熟読し、3つの模擬問題を最初に時間を計測し、実際に書いてみました。解説を読み解きながら、自分の解答と模範解答例を比較しながら、どの点が不足しているのかを自分なりに客観視してみました。その後、過去問(27回~30回)を解きました。解答例を掲載しているサイトの解答例と比較参考され

ながら、都度合格バイブルⅡの内容を繰り返し読み直すと効果が高かったように感じました。

ライブとしては、10月の香川県での講座の午前最初の講義が論述分野で、コンパクトに重要事項のまとめと整理をご講義いただき、不足していた重要ポイントを把握、整理できました。

さらに、12月の直前期にもオンラインでの論述対策講座が開講されましたので、そちらにも参加しました。直前1週間は、毎日書く習慣をつけておいたので、当日の試験ではペンが進む(身体で覚える)感覚で、出だしがスムーズに進んだ印象がありました。直前のオンライン講座で改めて重要な事項を再確認できたことが時間のない私には非常に有用でした。

論述は2次元の面接試験だと私は思いました。4つの評価区分の「基本的態度」や「関係構築力」に関連する部分も数行ではありますが、そこを明文化して解答欄に記載できるか否かが次の面接に繋がっていく重要な部分ではないかと感じたからです。最後の合格判定の実技は、「論述」+「面接」であることから忘れず取り組んでいただけると良いのではないかと思います。

第31回の論述試験は、67点という結果でした。70点をひとつの目標としておりましたが、試験後、重要な部分の一つ記載できていなかったことに気がつきましたので、そこが記載できていれば、と非常に悔やまれるところでしたので今後の自己研鑽に活かしたいと思っています。

■面接試験対策

面接試験対策は、学科・論述試験終了後に開始しました。

論述試験同様、1級キャリアコンサルティング技能士の会から刊行されています「2級実技試験(論述・面接)合格バイブルⅡ」の面接試験対策と付属のDVDを視聴しながら、各評価区分と試験の実施概要で求められる部分を自分なりに整理しました。

また、12月16日(土)に東京で開催されました「同会の本試験ケース分析とロールプレイ1日集中合格講座」を受講するにあたり、受験票に記載されている5つの事例について、自分だったらどのようなCLを演じてみるかを想定し、そのCLに対してCCとしてどのような質問、構成で進めていくのかをシュミレーションし、それぞれ記載しました。当日は講師の先生方の分析の御説明を受けながら、実際に自分自身のロールプレイを評価していただき、また、他の受講生のロールプレイを拝見し、講師の先生方の評価、視点を客観視することができました。また、口頭質問についても、20分の面談を客観的に分析した対応ができていないか、についても詳しくフォローをいただくことができました。オンラインでは得られない、ライブならではの3次元の面接は実践的で、まさに百聞は一見にしかずという内容ですので、直前期には必ず受講されることをお勧めします。2級受検者の友人同士で練習を重ねられる方も多いと思いますが、やはり1級、2級資格保持者の講師の方々との生きたロールプレイ、口頭質問を受けることが本試験合格のためには必要不可欠であると私は考えます。

なお、その後、実技試験直前までは、同会の「これだけ覚える2級面接対策動画教材」を申し込み、5事例の総まとめを行いました。仕事の関係で1月の試験直前の講師の先生方とのオンラインでの「本試験のケース別ロールプレイ対策講座」は受講できませんでしたが、時間にゆとりのある方は是非、5事例の総まとめが整ったら受講しておくことをお勧めいたします。

第31回の面接試験は、基本的態度70点、関係構築力75点、問題把握力65点、具体的展開力65点、合計68点という結果でした。口頭質問で冗長的な回答をしたため、問題把握力と具体的展開力が伸ばし切れなかったのは反省点と感じております。10分というプレッシャーもあります。ある程度簡潔で客観的な回答をする練習は十分積んでおく必要があると思います。

■受検される方へメッセージ

この合格体験記を書く機会をいただき、1級キャリアコンサルティング技能士の会の関係者の皆様に深く感謝いたします。

丁度、昨今の頃は、国家資格キャリアコンサルタント試験の養成講座が開始する直前で、事前課題に追われていました。長年人事業務に携わっていながら、初めて知る多くの理論家とその内容、面談技法等々、自分にとっては新鮮な世界でありながらも無知であることの恥ずかしさも併せて知ることとなりました。運良く学科試験の合格率の高かった7月の国キャリを突破したものの自分の中ではある種の消化不良、本当にこれで良いのか、十分なのかという気持ちが残ってしまい、受検資格要件を偶然満たしておりました2級にそのまま挑戦することになりました。

ただ、それと並行し、仕事も想定外の事案も重なってかなり繁忙となり、なかなか満足できる勉強時間を確保できず、焦る気持ちと合格ができなくてもそれを言い訳にしようかとする自分の弱さも正直存在していました。

そのような中、直接試験とは関係ないかもしれませんが、私は國分康孝先生の講話動画をいくつか視聴しました。國分先生の優しい語りかけの雰囲気、内容は、対人支援の熟練者を目指す自分自身にとって大変参考になりました。試験に合格するのももちろん重要なことではありますが人生を生きる上で、大切なヒントを教えていただいたように感じました。

2級を受検される方も来談される方も来談されなくてもキャリアに悩む多くの方も皆それぞれが事情を抱えながらも日々頑張っている中、自分の弱さに向き合えず、乗り越えられないようでは、来談者の相談に耳を傾けられない中途半端なCCだということを教えられたような気がしました。

前向きに捉えることで私自身も少し成長したように感じたところで、偶然、香川県での受講を通じて、対人支援の重要性、少しでも誰かのお役に立っていきたいという想いがより一層強まったように自分自身の心の中での変化を感じました。

CLの可能性を信じて自律的に意思決定し、未来に前向きに向かっていたきたい、これはCCの私のCLに対する思いと同時にCCの私自身に対して抱く思いでもないか、と感じました。

これから2級を目指す方には、簡単に諦めるのではなく、勇気を持って、自分自身の可能性を信じて進んでいただきたいと思います。偶然、講座を受講した私はこれまでの閉塞した世界が大きく広がり、平凡な人生の半ばを過ぎた自分でも日々が楽しくなってきましたし、人脈も広がって少しずつ成長してきていることを実感しています。

みなさまには、自分自身の可能性を信じて諦めずに御自身で決めた目標に向かって進んでいただきたいとエールをお送りしたいと思います。

長文乱文の中、お読み通して頂きまして、誠にありがとうございました。